

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	自転車交通安全対策事業			事業番号	33-102
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	市民生活部	石田 康弘	市民協働課	久保田 敦子	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	15	安全で円滑な移動ができるまちをつくる	
		施策	33	安全な交通環境の整備	
予算事業名	交通事故防止対策事業費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→		法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	～	終了年度		
関連法令等	道路交通法				
国・県の計画等	第11次神奈川県交通安全計画		計画期間	令和3年度～令和7年度	
関連個別計画			計画期間		
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	・自転車が関係する交通事故の約6割が、自転車の法令違反に起因することから、自転車の交通ルールの遵守とマナーの向上に向けた取組を警察署及び交通安全関係団体と連携して展開する必要があります。				
目的 (何をどうしたいのか)	自転車利用者の交通安全意識の高揚とマナーアップを図るため、警察署及び交通安全関係団体と連携して、交通安全教室や街頭キャンペーンを実施するとともに、児童の自転車用ヘルメットの着用を促進し、交通事故のない安全で安心な社会を目指します。				
主な対象 (誰・何を対象に)	市民及び自転車利用者				
事業内容 (手段、手法など)	・自転車の交通ルールやマナーの向上を図るため、警察や交通関係団体と協力して交通安全教室やマナーアップキャンペーンを実施します。 ・中学生に対する効果的な交通安全教室を提供するため、体験型交通安全教室を実施します。 ・児童のヘルメット着用率を向上させるため、教育委員会と調整を図りながら、交通安全の周知を行うとともに、効果的な助成制度の設計を進めます。				
事業行程	項目	年度			
		令和3年度	令和4年度		
	自転車交通安全教室	継続実施	継続実施		
	自転車マナーアップキャンペーン	継続実施	継続実施		
	体験型交通安全教室(スクエアドストレイト)	関係機関調整	公立中学校(4校)実施		
自転車用ヘルメット購入助成	関係機関調整 着用状況調査実施	関係機関調整 制度設計			
目 標	【指標名】	【現状値】	年度		
			令和3年度	令和4年度	
	児童の自転車用ヘルメット着用率	25% (令和元年度)	30%	40%	



事業実施 (Do)



評 価 (Check)			
<b>進捗状況</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	B	<b>左記判断理由</b> 新型コロナウイルス感染症の影響で実施方法を変更した事業がありましたが、警察署や交通関係団体との協力により、感染症対策を講じながら交通安全教室や広報車による広報活動、啓発物品の配架等を行い、自転車交通安全に関する周知、啓発を図ることができました。また、体験型交通安全教室(スクエアドストレイト)実施に向け、各中学校長と調整を図りました。
<b>実施水準</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input checked="" type="radio"/> 一律に比較できない事業	—	<b>他都市の事業内容等</b> 交通安全教室等、各市独自の方法で実施されており、一律に比較はできません。
<b>有効性</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 高い (A) <input checked="" type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	B	<b>左記判断理由</b> 新型コロナウイルス感染症の影響で実施方法を変更した事業がありましたが、警察や交通関係団体と協力し、特に小中学生に対する自転車交通安全啓発活動を効果的に実施することができました。
<b>効率性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である(C)	A	<b>左記判断理由</b> 新型コロナウイルス感染症の影響で実施方法を変更した事業がありましたが、感染症対策を講じながら交通安全教室や広報活動を実施し、自転車交通安全に関する周知、啓発を図ることができました。



取組内容の改善 (Action) へ

取組内容の改善 (Action)	
<b>所管部長による総評</b>	自転車の交通事故を減らすため、警察署及び交通安全関係団体と連携し、自転車の交通ルール遵守とマナー向上に向けた取組を強化していきます。市内小中学生に対しては、学校と協力し、自転車交通ルール等の啓発と併せてヘルメット着用率向上のための取組を強化していきます。 また、改正道交法施行による自転車ヘルメット着用努力義務全年齢適用を広く認知させるため、ヘルメット購入助成について調査・研究を継続します。